

日常生活の指導 学習指導案

あさひ子学級 3組 5名 指導者 竹迫 恵美
あさひ子学級 4組 4名 指導者 川窪 沙弥

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子供が意欲的に授業に参加して、活動の見通しをもつことができる内容であったか。
- 協働的な「学び合い」を設定したことは、相手を意識して発表したり、言葉の力を育んだりする手立てとして有効であったか。

1 題材 進んで楽しく活動しよう

2 題材について

(1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、下のような様々な指導を展開している。

本題材は、子供が朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で、学級の一員として大切な役割を果たすことから効力感を感じたり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりするという点で、一日のスタートの1校時に設定できる格好の材料といえる。また、毎日、一定時間にほぼ同じような活動を繰り返し行うので、子供は自分の課題をより理解しやすくなり、その課題に取り組むことによって様々な力を獲得していくことができる。

例えば、子供は、日にち・天気や毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）を読む活動を行っている。次に、大型カレンダーで昨日までの行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動に見通しをもったりすることができる。さらに、カレンダー学習では時を表す言葉のカードを貼ることで、時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。他にも、挨拶の仕方や言葉遣いを身に付けること、集団での決まりを守ること、当番活動における自分の役割を果たすこと、身辺処理ができるようになることなど、様々な力を身に付けていくことができる。このように、みんなでいきいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合い関わり合う中で、基本的生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育んでいくことにつながるものと考えている。

(2) 子供の実態

子供は、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の目標を一つずつ達成してきている。この題材における子どもの現段階での主な目標は次のとおりである。

児童 (学年)	個人目標	児童 (学年)	個人目標
A (3年)	○ 見通しをもって、当番活動を最後までやり遂げることができる。 ○ 句読点や文節で区切り、意味を理解しながら音読することができる。	F (3年)	○ 見通しをもち、決められた時間内に当番活動を行うことができる。 ○ 文節に気を付けながらモーニングメッセージを読むことができる。
B (3年)	○ 友達の考えを聞いて、答えたり行動したりすることができる。 ○ 文節に気を付けながら文を読み、内容を理解することができる。	G (3年)	○ 席に座り一定時間集中して課題に取り組むことができる。 ○ 見通しをもって、最後まで当番活動をやり遂げることができる。
C (4年)	○ 教師や友達の話を最後まで聞くことができる。 ○ 一定の時間集中して、意欲的に活動に取り組むことができる。	H (4年)	○ 教師や友達の話を最後まで聞いて、行動に移すことができる。 ○ モーニングメッセージを読み、内容を理解することができる。
D (4年)	○ 相手の反応から感情を考え、友達に関わることができる。 ○ 見通しをもって活動したり、司会・進行をしたりすることができる。	I (5年)	○ 見通しをもって活動したり、司会・進行したりすることができる。 ○ 当番活動を丁寧にやり遂げることができる。
E (5年)	○ 当番活動を丁寧にやり遂げることができる。 ○ 相手を意識してモーニングメッセージを読んだり、自分の考えを発表したりする。		

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ活動において、今日どのような活動があるのか確認することで、見通しをもって進んで行動することができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

当番活動の話し合いの活動において、友達と話し合っって当番活動を決めることで、自分の意見を発表したり、相手の意見を聞いたりすることができるようにする。

ウ 深い学びの視点

友達のよいところを発表する活動において、他者意識をもちよいところを見付け認め合いをすることで子供一人一人が力を発揮できるようにする。

3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、学級の一員としての役割を果たす喜びをもつとともに、今日一日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 当番活動の役割を決めたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や、他者とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。

(5) 時間や時刻が分かり、「今日、明日、明後日、昨日、今週、来週、再来週、先週」などの時を表す言葉を分かることができるようにする。

(6) 話す、聞くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

4 指導の実際

[] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

時	主な学習活動	指導の手立て
20	<p>1 朝の会をする。</p> <p>(1) 朝の挨拶をする。</p> <p>(2) 健康観察をする。</p> <p>()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気よく挨拶をするぞ。 ・ ○○くんは大きな声だな。僕も大きな声で挨拶や返事をするぞ。 <p>(3) 今月の歌を歌う。</p> <p>()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌を歌うのは楽しいな。 ・ 大きな声で歌うぞ。 	<p>○ 「大きな声で『はい』と返事をしようね。」等の言葉掛けをすることで、名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるようにする。</p> <p>○ 正しい姿勢でいられるよう助言する。</p> <p>○ 子供と教師の言葉のやりとりをすることができるように、健康観察を行う。</p> <p>※ よい姿勢で挨拶をしたり、言葉のやりとりをしたりすることができる。</p> <p>○ 教師自らが、大きな声で表情豊かに歌うことで、子供も大きな声と笑顔で歌うことができるようにする。</p> <p>※ 大きな声と笑顔で歌うことができる。</p>
	<p>2 今日の当番活動話し合い、決まった当番活動に取り組む。</p> <p>()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日は何を頑張ろうかな。 ・ 当番活動を最後まで頑張ろう。 ・ 当番活動が終わったら先生に「終わりました。」と伝えよう。 	<p>○ 活動の様子の写真と活動内容を文字で表したカードを用いることで、子供が自分で選んで当番活動を進めることができるようする。</p> <p>○ 当番活動の仕方を教え合うことで、どのように仕事をすればよいか児童が気付くことができるようにする。</p> <p>○ 見通しをもって進んで当番活動に取り組めるように、活動時間や内容を示してから行うようにする。</p> <p>○ 当番活動が終了した際は、教師に終わりを伝え、活動と活動の区切りをつけることができるようにする。教師は称賛を行い、活動終了の達成感をもつことができるようにする。</p> <p>※ 進んで当番活動に取り組むことができる。</p>
	<p>3 モーニングメッセージを読む。</p> <p>()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日は6月2日金曜日だ。 ・ 今日の天気は○○だ。 ・ 間違えないで読めるかな。 	<p>○ 子供一人一人がモーニングメッセージを読む時間を設定し、今日の日付などを理解できるようにする。</p> <p>※ 正しく音読したり内容を理解したりすることができる。</p>
25	<p>4 大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。</p> <p>()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日も一日頑張ろう。 ・ 今日は何をするのかな。 ・ 来週は何があるかな。 	<p>○ 時を表す言葉のカードを貼る活動を行うことで、今日の予定や一週間の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>※ 「きょう」「あした」「今週」「来週」などのカードを所定の場所に貼ることができる。</p>
	<p>5 友達のよいところを発表する。</p> <p>()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達がいつも頑張っているところを見付けるぞ。 ・ 大きな声で発表しよう。 	<p>○ いつも友達が頑張っていることやよいところに気付けるようにする。</p> <p>※ 友達のよいところを進んで発表することができる。</p>
	<p>6 次の学習の開始時刻を確認する。</p>	<p>○ 模型時計を準備し、次の学習開始時刻を確認できるようにする。</p> <p>※ 次の時の学習の準備をすることができる。</p>

